

# 関東大震災から百年

## 朝鮮人虐殺の史実から 何を受け取るべきか

作家の加藤直樹さんの講演が9月30日(土)に開催され、ソウルの大ホールが満員となりました。講師が演題のテーマを深く研究するきっかけになったのは2000年当時の石原慎太郎・東京都知事の発言だといいます。当時の「不法入国した多くの「三国人」、外国人による災害時の暴動が想定されるので自衛隊に治安維持をお願いしたい」という趣旨の発言を通

して、関東大震災時と同様の虐殺が起こりうる社会に強い危機感をいだいたからだといいます。

現在、森達也監督で映画が公開されている「福田村事件」(現在の千葉県野田市)では、香川からの行商団(大人の男女・子ども含めた15名)の言葉(讃岐弁)を聞き取れず、朝鮮人ではないかという疑惑から自警団員約200名によって9名が殺害されています(遺体は利根川に放棄されて行方不明)。実刑判決は福田村と隣の田村村の自警団員8名のみで、それも2年5か月後、昭和天皇即位による恩赦で釈放されています。また、甘粕事件では甘粕正彦憲兵大尉らにより社会活動家の大杉栄、



NHKBS「風よあらしよ」で伊藤野枝を演じた吉高由里子

は「朝鮮人が最も多かったが、中国人、内地人も少なからず被害にあった。(中略)正確な数は掴めないが、震災による死者数の1/3数パーセント」としており、死者・行方不明者約10万5千人のうち千から数千人が犠牲になったとしています。松野官房長官(当時)は同報告書について「有識者が執筆したものであり、政府の見解を示したものではない」としています。

講師は、今後の取り組みとして、現在の日本社会で現在も災害時に繰り返される差別や偏見に満ちた流言、虚偽情報を許さない社会を目指し、①災害時の差別的流言を許さない、②日ごろから民族差別を許さない、③虐殺否定、虐殺否定論を許さない、ことを強調しています。

伊藤野枝らも殺害されています(2022年には吉高由里子がNHKBSの特集ドラマ「風よあらしよ」で伊藤野枝役を演じています)。

毎年9月1日、朝鮮人犠牲者追悼碑がある都立横網町公園(墨田区)で実行委員会が追悼式典を開催しています。小池百合子・東京都知事は就任翌年の2017年から、東京都慰霊協会が開いている法要を踏まえ「犠牲となつたすべての方々に哀悼の意を表しており、個々の行事への送付は控える」として7年連続で追悼文を送付していません(あの石原氏も含めて歴代都知事は追悼文を送っていません)。朝鮮人虐殺の事実を疑問視する団体は、1973年に建てられた追悼碑に刻まれた犠

牲者数6千余名に根拠がないと主張し、2017年から公園内で別の集会を東京都の許可を得て開催しており、今年も公園内はヘイトスピーチが飛び交い、会場は騒然となりました。

多くありまして、その背景として、講師は、

①1910年の植民地化と独立運動のものとで「不逞朝鮮人」のイメージがあったこと、②警察による流言の拡散と戒厳令のミスリード(自然災害なのに、敵と内

乱を対象にした戒厳令を出した犯罪者がいる)、③軍や自警団内の軍隊経験者などによる満州やシベリアでの対ゲリラ戦の体験や記憶、などをあげています。

たくさん資料や証言があるにも関わらず、政府は今年の通常国会でも、関東大震災で起きた朝鮮人や中国人への虐殺を「政府内に事実関係を把握できる記録が見当たらない」「記録が見当たらず、答えるのは困難だ」などの答弁に終始しています。野党の維新も同様のスタンスです。2008年の内閣府中央防災会議専門調査会報告書で

東南海地震などの自然災害だけでなく、台湾有事をはじめ日本が戦争に巻き込まれる可能性が高まる中、講師の提起とともに喫緊の課題として、避けられない自然災害への対策を怠らず、戦争を起こさない友好、平和外交により人権や平和を守ることも重要性も実感した講演会でした。

(熊沢美郎)



人権や平和を守ることの重要性も実感できた加藤直樹さんの講演会

た。その背景として、講師は、

①1910年の植民地化と独立運動のものとで「不逞朝鮮人」のイメージがあったこと、②警察による流言の拡散と戒厳令のミスリード(自然災害なのに、敵と内

乱を対象にした戒厳令を出した犯罪者がいる)、③軍や自警団内の軍隊経験者などによる満州やシベリアでの対ゲリラ戦の体験や記憶、などをあげています。

東南海地震などの自然災害だけでなく、台湾有事をはじめ日本が戦争に巻き込まれる可能性が高まる中、講師の提起とともに喫緊の課題として、避けられない自然災害への対策を怠らず、戦争を起こさない友好、平和外交により人権や平和を守ることも重要性も実感した講演会でした。

(熊沢美郎)